

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 大和町立鶴巣小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒981-3417

宮城県黒川郡大和町鶴巣北目大崎字岸 172

E-mail tsurusu-e@taiwa-tk.ed.jp

Website <http://www.taiwa-tk.ed.jp/tsurusu-e/>

幼児児童生徒数 男子 45 名 女子 39 名 合計 84 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

① 鶴巣っ子 夢田んぼ (5 年生および全学年)

地域コーディネーターや PTA、地区婦人会、JA などの協力を得ながら、地域の主産業である稲作に取り組みます。「育てる」「食べる」「売る」「伝える」といった多様な体験活動に取り組みます。

5 月 11 日 (木) 3 年生以上の児童 60 名で「夢田んぼ」に田植え。地域コーディネーターをはじめ農家の方々から苗の植え方を教えていただき、地域の方が育ててくださった餅米の苗を植えました。

6 月 27 日 (火) 1 校時に 5 年生が夢田んぼの草刈りをしました。地域コーディネーターが刃を研いでくれた鎌は、草をきれいに刈ることができました。その後、稲の生育調査をしました。稲の分けつが進み、40cm 以上伸びていました。

10 月 2 日 (月) 稲刈り。3 年から 6 年生の児童と地域コーディネーターや地域の皆さんと一緒に稲の収穫を行いました。子供たちは地域の方から刈り方や束ね方を教えていただき、鎌を使って刈り取りを行いました。

11 月 16 日 (木)

たくさんの御来賓の方々においでいただき、収穫祭を盛大に開催することができました。5 年生の子どもたちが、田植えから脱穀まで、体験学習の発表や餅つきをしたり、お世話になっている方々に感謝を伝えたり、和やかな雰囲気の中で、楽しい時間を過ごしました。

② 鶴巢の自然を探ろう

宮城教育大学や地域などの協力を得ながら、学区内の川の生き物について調べます。身近な環境に関する体験学習を通して、郷土愛や自然保全、生物多様性といった様々な価値観を育みます。

5月24日（水）3・4校時に、4年生が、総合的な学習の時間に鶴巢の川の生き物について学習しました。今年も宮城教育大学の学生さん20人ほどが学習支援に当たってくださいました。また、大崎区長の高橋様が事前に川岸の草を刈ってくださったお陰で、安全に魚を捕まえることができました。釣りとガサガサ網を体験し、多くの種類の魚を捕まえました。5校時に、魚を観察し、名前や特長をまとめました。次回、秋の川探検で在来種と外来種を比べたいです。

9月13日（水）4年生が総合的な学習の時間に宮城教育大学と連携した「鶴巢の川の生き物調査」（2回目）を行いました。地域の方が事前に草を刈ってくださいました。また、宮教大の方が前もって川の調査を行い、当日は安全確保の約束や釣り方を教えてくださったので、4年生は安心して活動することができました。採った魚を種類ごとに集計したところ、外来種が圧倒的に多く、在来種が少ないことに驚きました。5時間目は在来種の魚が減った原因から鶴巢の川の環境について学習を深めました。今日の体験を生かし、鶴巢の川を守るために何ができるか考えをまとめ、提案していきます。熱心にご指導いただいた宮教大の皆さんに、ありがとうございました。

③ 田んぼの生き物調べ

JAをはじめ諸団体の協力を得ながら、学区の水田の生き物について調べます。身近な環境に関する体験学習を通して、郷土愛や自然保全、生物多様性といった様々な価値観を育みます。

6月13日（火）JAさんや地域の方のご協力をいただき、3年生が鶴巢の田んぼの生き物調査をしました。一人一人網と飼育箱をいただいて、田んぼに入って生き物を採集しました。始めは田んぼに足を入れることに戸惑っていましたが、最後はカエルやオタマジャクシやザリガニを夢中で探していました。子どもたちは全員、泥の感触を味わい、生き物に触れ、楽しそうでした。最後にテントの中の青空教室で生き物について詳しいお話をしていただきました。身近な生き物にますます興味をもった3年生でした。

① 鶴巢っ子夢田んぼ



② 鶴巢の自然を探ろう



③ 田んぼの生き物調べ



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

それぞれの学年において、総合的な学習の時間を中心として、年間指導計画に位置付けて取り組んでいる。年度毎に関係する諸団体等と事前打合せや事後検討を行い、安全面の配慮、活動の内容、事後のまとめの仕方などについて改善を図っている。

どの活動も、教科横断的な取組であったり、アクティブラーニングの手法を取り入れた学習だったりすることが多い。単発的な体験活動で終わるのではなく、体験を中核にしながらも、事前準備の段階で興味・関心を引き出したり、体験から得た物をベースに個々の課題の解決を図ったりしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域との連携による活動では、「地域連携学校コーディネーター」を校務分掌に位置付けて、コーディネーターを中心として調整を図っている。実際の活動場面では担任が指導に当たるため、事前打ち合わせなどの際には担任が同席し、コーディネーターと共に計画を進めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動ごとに、児童の振り返りと共に指導者による評価を累積している。

現在の取組は子供たちが身の回りの自然に目を向ける大変良いきっかけ作りになっており、今後も継続して活動していきたいと考えている。また、連携している大学や地域の方々からも良い評価を得ており、関係を深めながらより良い活動を目指していきたい。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動の様子をHPにより公開している。掲載内容について直接的なご意見や感想をいただいたことはないが、HP全体を通して、子供たちの姿が見られることに好意的な評価をいただいている。地域の方々との連携に役立っていると捉えている。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

各活動における連携団体

○ 鶴巣っ子 夢田んぼ…JAあさひな, JAあさひな青年部鶴巣支部

○ 鶴巣の自然を探ろう…宮城教育大学

○ 田んぼの生き物調べ…JAあさひな, 三井化学アグロ(株)

※ いずれの活動も、地域コーディネータ及び学習ボランティアによる活動支援をいただいている。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

比較的自然に恵まれた地域ではあるのだが、子供たちが日常的に身の回りの環境や生物に対して関心をもっているわけではない。学校教育の中でこうした活動を意図的に取り入れ、新たな気付きや発見を導くことにより、子供たちの中に自分の住んでいる地域に目を向けたり、社会の中に問題意識を抱いたりするきっかけとして有意義な活動だと捉えている。また、活動を通して様々な人たちとの交流が深まり、小規模校であっても周囲に臆することなく、自信をもって活動できる子どもの育成にも寄与していると考えている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

鶴巣っ子 夢田んぼ（5年生および全学年）

5月～11月 地域の主産業である稲作に取り組む。「育てる」「食べる」「売る」「伝える」といった米の生産に関わる様々な体験活動を継続的に行う。

鶴巣の自然を探ろう

5月、9月 宮城教育大学や地域などの協力を得ながら、学区内の川の生き物について調る。身近な環境に関する体験学習を通して、郷土愛や自然保全、生物多様性といった様々な価値観を育む。

田んぼの生き物調べ

6月 学区の水田の生き物について調べます。身近な環境に関する体験学習を通して、郷土愛や自然保全、生物多様性といった様々な価値観を育みます。

北目神楽

9月～11月 保存会の方々を講師に招き、地域に伝わる伝統芸能の体験学習に取り組む。練習の成果は、地域のお祭り「鶴巣ふれあいまつり」で披露する。